

全国ブロック支援活動報告について

三重県

(1) 支援先自治体及び状況

宮城県 阿武隈川下流流域下水道

●幹線管渠について

- ・調査を実施した白石川幹線の上流部については、被害を受けていない。
- ・同じく中流部については、人孔の隆起や舗装破損等はあるが、下水は流れている。
- ・沿岸部の津波被害を受けた仙台幹線については、名取ポンプ場が機能停止しており、増田川手前の人孔から仮ポンプにより揚水し、河川堤外地に仮沈殿池を作り、塩素滅菌した後放流している。

●県南浄化センターについて

- ・津波により壊滅状態となっている。
- ・流入ポンプ棟から仮ポンプにより揚水し、場内に仮沈殿池を作り、塩素滅菌した後放流している。

(2) 支援人数

三重県職員 1名（土木技師）

四日市市職員 3名（土木技師2名、電気技師1名）

(3) 支援期間

出発 4月5日

調査 4月6日～4月10日

帰着 4月11日

(4) 下水道管渠の状況

- ・調査を実施した白石川幹線の上流部については、被害を受けていない。
- ・同じく中流部については、人孔の隆起や舗装破損等はあるが、下水は流れている。
- ・沿岸部の津波被害を受けた仙台幹線については、名取ポンプ場が機能停止しており、増田川手前の人孔から仮ポンプにより揚水し、河川堤外地に仮沈殿池を作り、塩素滅菌した後放流している。

(5) 一次調査の活動状況

全ての人孔について開蓋して目視調査。

(6) 支援活動を通しての感想

これまでは地震そのものに対する耐震化対策を実施してきたが、沿岸部については津波対策の必要性を強く感じた。